

## ICA ブリュッセル会合 発表者募集

### はじめに

今こそ国際公文書館会議（ICA）が記録や情報の管理に関し、質の高い会議を開催すべき時です。オープン・ガバメント・パートナーシップやオープン・データといった動きは、現代のテクノロジーがもたらす課題や機会と相まって、気づくと気づかざるとに関わらず、政府や社会のあらゆる領域で記録管理の重要性が増していることを意味しています。記念すべき第一回 ICA 年次会合は、「説明責任、透明性、情報へのアクセス」をテーマとし、実践的解決法に関する事例研究や、政府ハイレベルや国際レベルで行われているイニシアチブといった協同的事例を通じて、ボトムアップとトップダウン、両方からのアプローチでこの問題に取り組みます。

ICA はグローバルな組織として、法的義務、社会の期待、文化的行為といったものが地域によって異なることを理解しています。そうしたテーマについて話し合う国際的な議論の場では、例えば知的所有権について、見解や利害の衝突が明らかになるかもしれません。他の分野で言えば、情報を提供する側、利用する側のテクノロジーへのアクセスといったものもあります。また情報公開も、政治制度や市民の意識、教育レベル、プライバシーの価値、商業的利益といった様々な要因によって、その定義や重要性が変わってくる概念といえるでしょう。

2013 年会合のプログラム委員会では、ICA 会員と関係者がこうした難しい課題について考え、話し合うための刺激剤となる発表を募集します。ICA 幹部と ICA プログラム委員会はこの重要な論点に一層深く取り組むこととしており、年次会合での成果は ICA の活動に直接活かされます。

発表への応募にあたり、ICA 会員あるいはアーカイブズや記録管理の分野で働いている必要はありません。むしろ ICA では、我々のネットワーク外にいる人々の期待に応え、その喫緊の関心事に触れられるよう、彼らが会合に参加し、我々に働きかけてくれることを強く勧めるものです。

## プログラム概要（予定）

全体テーマ：「説明責任、透明性、情報へのアクセス」

専門家プログラムのテーマ

1. 政府、アーカイブズ、歴史に携わる市民
2. 権利の証拠となる記録
3. 法律的事項
  - a. 情報の自由／情報公開
  - b. 真実と和解のためのプロセス
  - c. 個人情報の保護
  - d. ビジネス、犯罪との闘い、国家に係る事項、国際関係における機密保持
  - e. 知的所有権
4. 説明責任、透明性、情報へのアクセスにおけるアーキビストや記録管理者の役割／貢献
  - a. 彼らは何に貢献できるのか
  - b. 彼らは指導的役割を果たしているか、あるいは果たすべきか
  - c. 彼らはどのように指導的役割を果たしうるか
5. イニシアチブ
  - a. インターナショナル・レコード・マネジメント・トラスト
  - b. 国立公文書館長フォーラム<sup>1</sup>
6. アクセスの付与
  - a. 利用者の視点
  - b. デジタル／インターネット・アクセス（アクセスと透明性が向上するのか、それとも個人情報が不注意に扱われる可能性が増すのか）
7. 記録管理
  - a. 透明性、効率、責任の関係
  - b. 「正しい記録管理」はコストと時間を要するものか

## 応募締切

2013年2月22日（金）

---

<sup>1</sup> 国立公文書館長フォーラムは、オープン・ガバメント・パートナーシップに関する半日のセッションを開催し、同プロジェクトの最新情報（候補はフィリピンや南アフリカの事例）を提供することを検討中。

## **応募方法**

応募者は事前に「要旨応募要項」に目を通すこと。「要旨応募フォーム」は2月22日までに [crockett@ica.org](mailto:crockett@ica.org) に送付すること。

## **参加条件**

ICA が発表者を支援することはありません。発表者は一般の参加者同様、登録料を払う必要があります。旅費、宿泊費その他の経費を ICA が補助することはなく、また講演料も支払われません。

## **結果の通知**

選考結果は2013年3月末日までにメールで通知されます。選考は年次会合プログラム委員会が行います。

## **発表原稿とパワーポイント資料の提出**

発表者は発表原稿の全文を求められてはいませんが、希望した場合には、ICA ウェブサイトに掲載することも可能です。ICA の機関誌「コンマ」にもふるってご応募下さい。

発表者は、セッション開始までにパワーポイント資料を会場の技術担当に提出しなければなりません。

原稿や資料提出に関する詳細は、追って発表されます。